

第3回夕張市地域公共交通協議会 議事概要

日 時：平成25年3月11日（月）14:00～15:30

場 所：夕張市役所4階 会議室

参加者：別紙のとおり

1 開 会

2 挨拶

- ・会長より挨拶

3 議 事

【報告事項】

- (1) 今後の公共交通に関する地区別説明会について
- (2) 夕張市民アンケート等調査の報告について
- (3) DMV導入可能性検討分科会の検討内容について
 - ・事務局より資料1～3の説明
 - ・内容に関する質問等なし

【協議事項】

- (1) 夕張市生活交通ネットワーク計画（案）について
 - ・事務局より資料4の説明

○ 定量的な目標について

- ・ 市内では転出による減少などにより、人口は少なくなっており、今後も減少傾向にあると予測される。
人口が減少を続ける中、公共交通利用者を一割増加させるという目標設定をしているが、どのように実現していくのか。
⇒ 人口減少に伴い、このままの状態では利用者数の減少が予測されるが、公共交通の利用の仕方の手本（パターン）を示すことなどで、公共交通の利便性を向上し、現在公共交通を利用しない方の利用を増やしていきたい。
また、アンケート結果においても、現在は自動車利用や自動車送迎が多く、潜在的な公共交通の需要はあると考えられる。

○ 自宅からバス停までの移動について

- ・ 今は自動車を使っているが、数年のうちに運転ができなくなるかもしれない高齢者にとっては、バス停まで歩いて行くことが困難な場合もあり、通院送迎車などに頼らざるを得なくなることが想定される。
自宅からバス停まで出ることも含めて考えなければならない。

○ 高齢化の状況について

- ・ 周囲の方も含め、今後は自動車を運転できなくなる人は増えると思う。現在は、知り合い同士で相乗りにより出かけることも多いが、その運転役も高齢となっている。

- 登下校時間の朝及び夕方と高齢者が主に使用する屋間の使い分けについて
 - ・ 下校時間は、学年によって大きく異なり、小学校低学年ならば昼ごろ、中学生であれば部活動等で遅い時間となる。
また、午後まで帰宅できないということになると、夏休みの講習など、短時間の学習活動が行えない。
- 高校生の登下校について
 - ・ 高校生は生徒の42%が公共交通を使って通学しており、高校は部活動や進路活動等の放課後活動が密である状況の中で、ダイヤに合わせた学校活動を行うのは困難である。
徒歩通学や、父兄が送迎しているケースも多い。
生徒数が減少している中で、下校にあった公共交通があれば良いと思うが、財政状況等も十分に理解しており、強く言うつもりはない。
また、公共交通を使う生徒の今後の見通しについては不明である。
- 都市間バスとの乗り継ぎについて
 - ・ 新札幌からの都市間バスに乗り、夜に夕鉄バスターミナルに着いた際に、接続するバスがなく、タクシーを利用することとなる。
- 市の財政負担の軽減について
 - ・ 市の負担を軽減するために、事業者の経営を圧迫することとなってはならないので、国の補助を要望するなどの対策が必要となる。
- 高齢者の足について
 - ・ 今後の高齢者の足をどうしていくのか、具体的に検討していかなければならない。
- DMVについて
 - ・ DMVは観光振興の視点から見ても、ぜひ実現してほしい。
- コンパクトシティについて
 - ・ 「コンパクトなまち」において、どのような機能を持たせるか示し、それらの機能を繋ぐ公共交通との関係を議論することが必要である。
⇒ まちづくりマスタープランでは、都市骨格軸と広域連携軸を示しており、この骨格軸である南北軸を公共交通で支えていくこと、また、連携軸についても効率的な交通を目指していくことが重要である。
- 回送バスについて
 - ・ なるべく回送バスを減らしたいが、補助路線とするための輸送密度等の条件がある。
- DMVへの補助制度について
 - ・ DMVの運行についての補助制度があるのか。
⇒ 新しい交通システムであるため、制度は未定であるが、今後要望していきたい。

○ DMVの運行について

- ・ DMVは線路上を走行するため、列車と同じく冬期には運休となるのではないかと。
⇒ 冬期の走行実験を繰り返しており、列車と同じく安全走行を確認していかなければならない。

○ 将来のまちとマイカーについて

- ・ 「コンパクトなまち」となれば、公共交通は必要とされないのではないかと。
また、マイカーが便利である状況の中では、公共交通は衰退していくのではないかと。
⇒ 地区別のコンパクト化と南北軸への集約により公共交通が必要で使いやすい都市構造になると考えられる。

○ デマンド交通について

- ・ タクシー交通は、利用者のニーズに応じて運行することとなり、サービスを提示して利用者を募る方法ではない。
買物の場合、市内に1か所で全てがそろえるような商業施設がなく、宅配サービス等を利用する市民が多いのが現状であり、既存の公共施設の活用等により、市民の移動ニーズを創出することが重要である。

※ 夕張市生活交通ネットワーク計画（案）については、事務局案を基本としたうえで、今回の意見を反映する形にすることで了承された。

なお、修正については、会長及び事務局に一任することとなった。

4 その他

(1) DMVの導入・普及に向けた検討会について

- ・ 事務局より資料5の情報提供
- ・ 内容に関する質問等なし

5 閉 会

夕張市地域公共交通協議会 出席者

区 分	所属機関	代理出席等
公共交通事業者	夕張鉄道株式会社取締役管理部長	
	私鉄総連北海道地方労働組合夕張鉄道支部書記長	
	空知中央バス株式会社岩見沢営業所長	欠席
	北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部専任部長	
	夕張第一交通株式会社営業課長	
	丸北ハイヤー有限会社取締役社長	欠席
道路管理者	国土交通省札幌開発建設部岩見沢道路事務所副所長	
	北海道空知総合振興局札幌建設管理部長沼出張所所長	
	夕張市建設課長	
公安委員会	北海道札幌方面夕張警察署地域・交通課長	代理出席
関係行政機関	北海道運輸局札幌運輸支局主席運輸企画専門官	
	北海道空知総合振興局地域政策部地域政策課長	
	夕張市教育委員会教育課長	
公共交通の利用者	夕張商工会議所専務理事	
	夕張市農業協同組合営農部長	欠席
	夕張高等学校長	
	夕張市校長会会長	
	夕張地区連合会	欠席
	夕張市PTA連合会会長	欠席
	夕張老人クラブ連合会会長	代理出席
計画策定市	夕張市理事	
オブザーバー	北海道運輸局企画観光部	
	北海道運輸局鉄道部	
事務局	夕張市まちづくり企画室	